高山市議会
ぎかいだより

季節外れの大雪（４月４日、宮保育園入園式）

平成24年度予算審査…… 2－3
３月定例会結果
３月定例会議案賛否表 …… 4－7
３月定例会議員発議…… 7
３月定例会一般質問…… 8－15
委員会報告…… 16－19
議会改革
６月定例会のお知らせ …… 20

第７号
2012年5月1日
発行

題字：北小学校5年生　都竹大河（つづくたいが）さん

高山市議会予算特別委員会

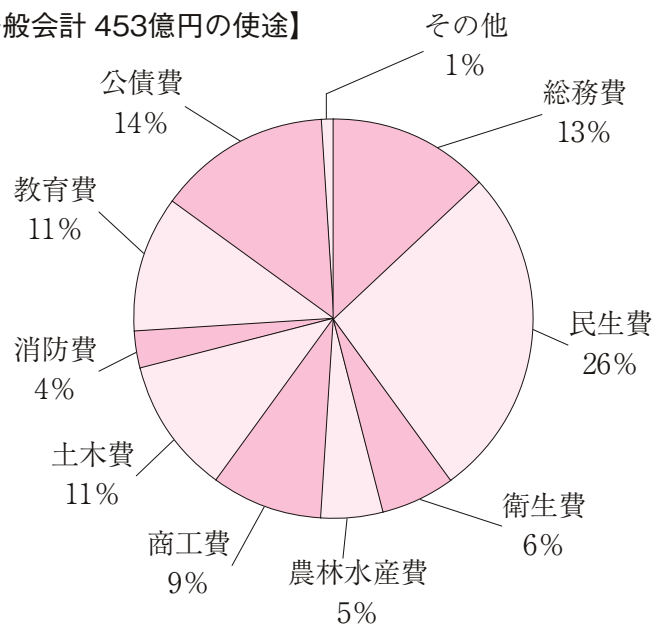
平成24年度 高山市予算を議決しました

総予算	733億3970万円	※対前年度伸率	△1.2%
一般会計	453億円	※対前年度伸率	△2.2%
特別会計	256億7810万円	※対前年度伸率	△0.1%
企業会計	23億6160万円	※対前年度伸率	6.8%

（企業会計＝上水道事業）

◎金額は万円未満を四捨五入

【一般会計 453億円の使途】



□総務費　59億3089万円（対前年度伸率　△0.8%）
・公共交通、地域産材利用の建築助成　など

□民生費　117億897万円（対前年度伸率　1.2%）
・福祉サービス、障がい児通所支援　など

□衛生費　28億5497万円（対前年度伸率　△4.5%）
・医療対策、ごみ収集事業　など

□農林水産費 23億8880万円（対前年度伸率　1.5%）
・鳥獣害防止対策、森林保全事業　など

□商工費　41億4998万円（対前年度伸率　△9.9%）
・景気対策融資、プレミアム商品券　など

□土木費　51億7994万円（対前年度伸率　△3.8%）
・道路橋りょうの維持新設、景観保全　など

□消防費　15億6866万円（対前年度伸率　0.6%）
・消防事業、救急事業　など

□教育費　47億7001万円（対前年度伸率　△4.8%）
・小中学校増改築、まちの博物館管理　など

□公債費　62億243万円（対前年度伸率　△2.6%）
・借入金の返済　など

□その他　5億4534万円（対前年度伸率　1.4%）
・災害復旧費、議会費、予備費

３月14～16日の３日間、議員全員で構成する予算特別委員会において、新年度予算についての審査をしました。活発な質疑応答の後、一般会計と国民健康保険事業特別会計及び後期高齢者医療事業特別会計については賛成多数で、その他の特別会計・企業会計については全員一致で可決しました。

議会としては、この予算が将来的な歳入の減少を勘案する中で財源確保を重視した予算編成となっていること、また、事業の妥当性を見極めながら執行率を高めようとする予算配分であることなどを評価しました。一方で、所管課の予算要求額と最終査定額とに大きな乖離（かいり）があることについて、さらなる内部での政策議論の活性化を求める意見もあります。また、一部の補助金支出に関し、具体的要綱が明示されないままに予算化されているものがあり、執行部に対し注意喚起を促す意見も出されました。

【特別会計（９会計①～⑨）の審査】

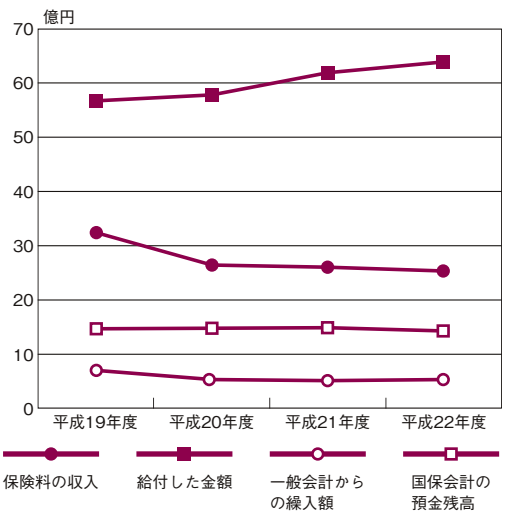
① 国民健康保険事業　108億3390万円　対前年伸率 △2.8％

※事業勘定 101億5400万円 対前年伸率 △ 2.9％　直営診療施設勘定 6億7990万円 対前年伸率 △ 0.2％

＝保険料の値上げを承認しました＝

医療給付費の急激な増加などから、現在、高山市国民健康保険事業（事業勘定）の単年度収支は３年連続して赤字となっており、保険料が不足している状況にあります。制度を健全に維持していくためには、保険料収入の増加が必要であり、保険料の引き上げを見込んだ平成24年度予算案が提示されました。

◎国民健康保険事業特別会計（事業勘定）の経年比較



	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
保険料の収入	32億3853万円	26億4135万円	26億50万円	25億2844万円
給付した金額	56億8239万円	57億9221万円	62億531万円	63億9746万円
一般会計からの繰入額	6億8956万円	5億1978万円	5億283万円	5億1523万円
国保会計の預金残高	14億6380万円	14億7248万円	14億8080万円	14億1963万円

●医療費の給付額が急激に増加していることや、保険料収入の減少の様子がわかります。

◎単年度収支と預金残高などの試算

保険料率		平成22年度（決算額）	平成23年度（予算額）	平成24年度（見込額）
現行の保険料率を据え置いた場合	単年度収支	△3億4651万円	△5億8268万円	△5億8268万円
	国保会計の預金残高	14億1963万円	8億3695万円	2億5427万円

●預金は突発的な疾病の蔓延などに対応するため、相当程度は必要といわれています。

【審査概要】医療費を上げない取り組みが必要であり、検診の推進や後発医薬品の積極的な利用、複数受診による重複処方への対応が必要であるとの意見が出されています。また、一般会計からの繰り入れを増やして値上げ幅を抑えるべきとの意見もある一方で、現在もルールに定められた割合での繰り入れは行われており、国保対象者ばかりではない一般会計からのこれ以上の繰り入れには賛成できないとの考えもあります。ただし、これ以後の値上げに対しては、一般会計からの繰り入れや財政調整基金の取り崩しも、改めて柔軟に考えて対応すべきとの意見も出されました。

以上のような主な議論の後、当予算については認めざるを得ないという意見が大半を占め、賛成多数で原案通り決定しました。

【特別会計】

② 下水道事業	33億7640万円	※対前年度伸率	0.1％	（管きよ建設など増、公債費など減）
③ 地方卸売市場事業	3323万円	※対前年度伸率	△32.2％	（市場使用料などの減）
④ 学校給食費	4億1900万円	※対前年度伸率	△ 1.5％	（児童生徒数の減）
⑤ 簡易水道事業	8億200万円	※対前年度伸率	8.7％	（水道施設整備などの増）
⑥ 農業集落排水事業	6億3340万円	※対前年度伸率	△ 6.9％	（公債費などの減）
⑦ 介護保険事業	84億6337万円	※対前年度伸率	2.7％	（保険給付費などの増）
保険事業勘定	84億2910万円	※対前年度伸率	2.7％	
介護サービス事業勘定	3427万円	※対前年度伸率	1.8％	
⑧ 観光施設事業	1億150万円	※対前年度伸率	△ 5.1％	（スキー場リフト整備などの減）
⑨ 後期高齢者医療事業	10億1530万円	※対前年度伸率	6.9％	（広域連合納付金の増）

３月定例会の結果を報告します

３月定例会が２月28日から３月22日まで開かれました。条例案件の他、平成24年度予算案など合計44議案を審議しました。その概要をお知らせします。なお、案件により議員（委員）間の自由討議を取り入れています。

①議案番号
②議案名
③議案の概要
　と主な質疑
④審査結果

自由討議
本会議や委員会において、意思決定のために議員同士で行う意見交換

委員会への付託を省略し、本会議で審査・決定されたもの

①議第１号
②高山市行政組織条例の一部を改正する条例について
③環境に関する行政課題に、迅速に対応するための組織の見直し
④全員一致で可決

①議第11号
②高山都市計画事業高山駅周辺土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例について
③法改正にあわせて市の条例文を整備
④全員一致で可決

①議第16号
②市道日面芦谷線災害復旧工事請負契約の締結について
③【契約の相手方】大山・新井・野口特定建設工事企業体　【契約金額】２億１３１５万円
④全員一致で可決

日面芦谷線災害現場

①議第20号
②岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
③法改正にあわせて広域連合規約を変更
④全員一致で可決

①議第24号
②平成23年度高山市一般会計補正予算（第６号）
③久美愛病院の建設補助金１億９１００万円、岩滝小耐震の前倒し工事２４００万円　などのため、差額を繰越金に増額（財源振替）
④全員一致で可決

①議第25号
②平成23年度高山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）
③療養給付費の県負担などに対する過剰分の返還　約７８００万円
④全員一致で可決

①議第26号
②平成23年度高山市下水道事業特別会計補正予算（第２号）
③事業のための借入金が予算より低額であったため、差額を繰越金に増額（財源振替）
④全員一致で可決

①議第27号
②平成23年度高山市簡易水道事業特別会計補正予算（第１号）
③事業のための借入金が予算より低額であったため、差額を繰越金に増額（財源振替）
④全員一致で可決

①議第28号
②平成23年度高山市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）
③介護給付費の国負担などに対する過剰分の返還　約９７７０万円
④全員一致で可決

①議第40号
②公平委員会委員の選任について
③高山市白川村公平委員会委員任期満了に伴う山木隆平氏の再任
④全員一致で同意

①議第41・42・43号
②人権擁護委員候補者の推薦について
③任期満了による候補者３名の推薦
・田中幸夫　氏
・平戸　公男　氏
④全員一致で同意

①議第44号
②北稜中学校校舎改築工事（建築）請負契約の締結について
③【契約の相手方】奥原建設株式会社　【契約金額】４億７３５５万円
④全員一致で可決

①発議第１号
②高山市議会委員会条例の一部を改正する条例について
③７ページ参照
④全員一致で可決

①発議第２号
②鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書
③７ページ参照
④全員一致で可決

①発議第３号
②「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書
③７ページ参照
④全員一致で可決

総務企画委員会で審査し、本会議で決定されたもの

①議第２号
②高山市情報公開条例の一部を改正する条例について
③これまで市民と利害関係者に限られていた情報公開請求者の範囲を拡大し、誰でもが請求可能とすることなど
【問】条例改正が現在まで遅れた理由は。
【答】市長公約を受けての取り組みで、広域自治の中で必要性とバランスを考慮した。
④全員一致で可決

①議第３号
②高山市税条例の一部を改正する条例について
③地方税法の改正による市税と県税の増減を調整するためなどの条例改正
【問】個人市民税が５００円引き上げになる。
【答】地方交付税が震災対応に使われるため、県下の自治体と歩調をあわせた。
【問】他の方策の模索は。
【答】復興への思いとして全国的に統一した考え方とした。
④賛成多数で可決

震災により高山に避難された人たちによる展示会（市役所１Ｆロビー）

①議第４号
②高山市手数料条例の一部を改正する条例について
③政令の改正にあわせて、危険物の屋外タンク貯蔵所の設置手数料を変更
④全員一致で可決

①議第15号
②高山市火災予防条例の一部を改正する条例について
③政令の改正で新たな物質が危険物に追加されたことにより届出が必要となる施設についての経過措置
④全員一致で可決

①議第23号
②指定金融機関の指定について
③市の指定金融機関に飛騨農業協同組合を加え、４金融機関の輪番交代時期を４月から10月に変更
【問】市民と市への有益性は。
【答】市民には特段の影響はない。市には金利面や安全面で有利。
④全員一致で可決

福祉保健委員会で審査し、本会議で決定されたもの

①議第５号
②高山市地域生活支援事業の費用の支給に関する条例の一部を改正する条例について
③法改正に伴い、地域生活支援事業の利用者負担をこれまでの原則一割から所得に応じた額とする変更
④全員一致で可決

①議第６号
②高山市国民健康保険診療所の設置に関する条例の一部を改正する条例について
③丹生川診療所・丹生川東部出張診療所・荒城出張診療所を廃止
【問】４月以降の診療体制はどうなるのか。
【答】現診療所医師が継続して業務に当たる。
④全員一致で可決

丹生川診療所（丹生川町町方）

①議第７号
②高山市介護保険条例の一部を改正する条例について
③17ページ参照
④全員一致で可決

①議第17号
②市有財産の無償譲渡について
③宮保育園の経営を移譲するため、市有財産である保育所施設を社会福祉法人石浦龍華（りゅうげ）会に無償譲渡する
【問】土地はどうなる。
【答】無償貸付となる。
【問】説明会の開催は。
【答】保護者会などで説明し、理解を得られたと考えている。
④賛成多数で可決

①議第19号
②松ヶ丘公園斎場の使用に係る事務の委託に関する規約について
③平成23年度に満了する飛騨市との事務委託期間を延長し、上宝・奥飛騨温泉郷市民の使用料を引き続き無料とする
④全員一致で可決

文教経済委員会で審査し、本会議で決定されたもの

①議第８号
②高山市観光施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
③奥飛騨双六渓谷テント村・ヘルシーランド奥飛騨・新穂高食堂を廃止するための条例改正
【問】双六渓谷テント村の土地貸借や、施設撤去の方針は。
【答】民有地を借上げしている。今後の方針は地元と調整する。
【問】ヘルシーランドの福祉目的利用について、代替施設の検討は。
【答】温泉施設利用の補助制度は、新たな施設指定の方向。
【問】新穂高食堂に付随した施設はどうなる。
【答】登山センターは神通砂防所有の建物に、観光案内所は近くの空き施設に移転。

④全員一致で可決

①議第13号

②高山市学校給食センターに関する条例の一部を改正する条例について

③本郷給食センターの移転に伴う条例改正

④全員一致で可決

①議第14号

②高山市育英資金貸付基金条例の一部を改正する条例について

③大学生の貸付額拡充や、高校生の通学費用への貸付金新設など

〔委員間自由討議〕

◇貸付の選考基準

・成績による区分はせず、向学心を大切にすべきではないか。

・具体的対象を決める場合は、ある程度の基準も必要だ。

・画一的でない柔軟な対応が必要。

◇医師確保との関係

・医師確保は重要。拡充を評価する。

・卒業後の高山勤務などの義務付け欲しい。

・社会が若人を支えていることを理解してもらうベースとなる。

④全員一致で可決

①議第18号

②市有財産の無償譲渡について

③施設の有効活用を図るため、旧上宝農林産物直売所の施設を、杖石農林産物直売所利用組合に無償譲渡

④全員一致で可決

杖石農林産物直売所（上宝町長倉）

基盤整備委員会で審査し、本会議で決定されたもの

①議第9号

②高山市地区公園条例の一部を改正する条例について

③五味原ふるさと公園を設置する条例改正

④全員一致で可決

五味原ふるさと公園管理棟（丹生川町五味原）

①議第10号

②高山市営住宅管理条例の一部を改正する条例について

③法改正により、市営住宅の入居資格を定める（現行要件を継続）

④全員一致で可決

市営住宅久々野団地（シャルマンハイツ）

①議第12号

②高山市下水道条例の一部を改正する条例について

③法改正により、公共下水道等の構造基準などを定める

④全員一致で可決

①議第21号

②市道路線の認定について

③久美愛病院移転新築に伴う市道の認定

④全員一致で可決

①議第22号

②市道路線の変更について

③県営事業の道路網整備に伴う高根町留之原の市道変更

【問】新旧道路の幅員が違う。新設道路が狭くなったということか。

【答】既設道路の変更はなく幅員5メートル。新設道路の有効幅員が4メートル。

④全員一致で可決

予算特別委員会で審査し、本会議で決定されたもの

①議第29号

②平成24年度高山市一般会計予算

③歳入歳出それぞれ453億円

※2ページ参照

④賛成多数で可決

①議第30号

②平成24年度高山市国民健康保険事業特別会計予算

③歳入歳出それぞれ108億3390万円

※3ページ参照

④賛成多数で可決

①議第31号

②平成24年度高山市下水道事業特別会計予算

③歳入歳出それぞれ33億7640万円

④全員一致で可決

①議第32号

②平成24年度高山市地方卸売市場事業特別会計予算

③歳入歳出それぞれ3323万円

④全員一致で可決

①議第33号

②平成24年度高山市学校給食費特別会計予算

③歳入歳出それぞれ4億1900万円

④全員一致で可決

①議第34号

②平成24年度高山市簡易水道事業特別会計予算

③歳入歳出それぞれ8億200万円

④全員一致で可決

①議第35号

②平成24年度高山市農業集落排水事業特別会計予算

③歳入歳出それぞれ6億3340万円

④全員一致で可決

①議第36号

②平成24年度高山市介護保険事業特別会計予算

③歳入歳出それぞれ84億6337万円

④全員一致で可決

①議第37号

②平成24年度高山市観光施設事業特別会計予算

③歳入歳出それぞれ１億１５０万円
④全員一致で可決

①議第38号
②平成24年度高山市後期高齢者医療事業特別会計予算
③歳入歳出それぞれ10億１５３０万円
④賛成多数で可決

①議第39号
②平成24年度高山市水道事業会計予算
③収益的収入15億３０００万円、収益的支出12億１４４０万円の他、錦山配水区域の再編事業の当年度分３億９４００万円等
④全員一致で可決

錦山配水区域再編事業における江名子配水機場予定地

３月定例会の議案賛否一覧

３月定例会の提出議案における、各議員の賛否は表のとおりです。
（この他の議案についてはいずれも全員一致で可決・承認・同意しています）

	山腰 恵一	渡辺 甚一	北村 征男	若山 加代子	岩垣 和彦	中筬 博之	倉田 博之	松山 篤夫	車戸 明良	佐竹 稔	松葉 晴彦	木本 新一	溝端 甚一郎	水門 義昭	村瀬 祐治	橋本 正彦	中田 清介	藤江 久子	谷澤 政司	松本 紀史	今井 武男	小井戸 真人	島田 政吾	杉本 健三
議第３号	○	○	○	●	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	○	○	○	●	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	○	○	○	●	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	○	○	○	●	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	○	○	○	●	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対。車戸議長は採決に加わりません。

議員提出の３議案について

発議第１号　高山市議会委員会条例の一部を改正する条例について

この条例は３月議会初日に議決された「高山市行政組織条例の一部を改正する条例」に基づき、改編された組織に対応するため、海外戦略室を文教経済委員会に、新設された環境政策部を基盤整備委員会の所管とするものです。また、委員会は、原則公開とすることを決定しました。

発議第２号　鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書

この意見書は、高山市においても深刻化する鳥獣被害防止施策に対する財政支援や、狩猟・捕獲に関する人材の確保と育成に関する支援などを国へ求める意見書です。

発議第３号　「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書

精神疾患の患者が増加する中で、こころの問題に対するケアが喫緊の課題となっていることから、国に対し、「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書です。

発議第２号は、文教経済委員会の調査研究に基づき提案されました。委員会からの提案については平成18年の地方自治法の改正により追加して規定されたもので、委員会における調査・審査を反映した議案を提出することを認めることによって委員会活動の活性化が期待できるものです。

日本鹿対策で高くした柵

國島市長に問う!!

一　般　質　問

3月6日から8日までの3日間、15人の議員が
市政全般について質問しました。

３月６日（火）

	議員名	質問方式	掲載ページ
1	山腰恵一	一問一答	8
2	中筬博之	一問一答	9
3	岩垣和彦	一問一答	9
4	水門義昭	一括	10
5	渡辺甚一	一問一答	10
6	北村征男	一問一答	11

３月７日（水）

	議員名	質問方式	掲載ページ
1	倉田博之	一問一答	11
2	松山篤夫	一括	12
3	松葉晴彦	一問一答	12
4	木本新一	一問一答	13
5	中田清介	一括	13
6	藤江久子	一問一答	14

３月８日（木）

	議員名	質問方式	掲載ページ
1	谷澤政司	一問一答	14
2	松本紀史	一問一答	15
3	若山加代子	一問一答	15

※本会議などの様子は、市議会のホームページ・ヒットネットＴＶでご覧いただけます。
（インターネットでは、当日の生中継のほか録画配信により、いつでも閲覧することができます）
http://www.city.takayama.lg.jp/gikai/gikai-eizou.html

山腰　恵一 議員

安心して暮らせる生活環境を！

空き家対策

【問】空き家（廃屋）は地域住民の生活環境にマイナス影響を与え、社会問題となっているが本市の実態状況は。

【答】本市には、おおよそ２６０軒の廃屋を含む空き家がある。

【問】住民からの苦情や相談の内容と、その後の対応は。

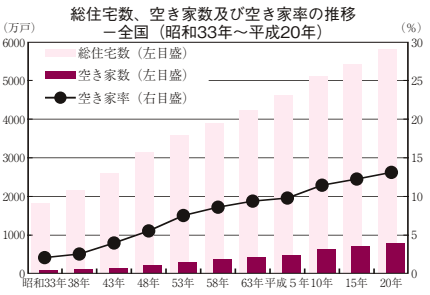
【答】雑草や木の伐採、廃屋の撤去などであり４件中２件対応した。

【問】空き家等の適正管理条例を検討しては。

【答】適正管理条例は考えていない。

【問】老朽化した危険な空き家を所有者から無償で譲渡してもらい除去し公園にする事業が他市ではあるが。

【答】基本的に所有者が管理することであり、市では考えていない。



防災士の育成

【問】地震や豪雨災害など、いざという時の為に、十分な知識や技能を持ち、家庭・地域・職場などで公的援助が来るまでの間、被害を軽減する役割を果たす防災士への認識は。

【答】平常時の防災意識啓発や災害発生時などに率先して活動していただける資格者と認識している。

【問】他市では防災士の資格取得に助成し育成を促しているが、本市の考えは。

【答】特に資格にこだわることなく、市民の防災意識向上に努めていきたい。

高齢者の肺炎球菌ワクチン

【問】肺炎は死因の第４位であり、年間11万人の方が亡くなっている。肺炎球菌ワクチンは重症化しやすい肺炎全体の８割以上を抑えることができる。高山市の認識は。

【答】高齢者の発病や重症化防止に繋がるものと考えている。

【問】全国の６６０の自治体で公費助成しているが、高山市でも実施する考えはないか。

【答】国の方針に沿って検討する。

中筬　博之 議員

飛騨高山国際芸術祭でまちを元気に！

高山の芸術文化の振興

【問】芸術祭について市長の思いは。

【答】守るべき伝統と新たな創造力を世界に発信することで高山の魅力を高めたい。

【問】進捗状況は。

【答】平成25年度開催に向けて、市民に根づいた高山らしいイベントとするため、諸団体から意見を聞き、現在最終的な骨子案をまとめている。

【問】芸術文化振興指針の策定は。

【答】今後の芸術文化振興施策の方向性を定める指針として策定中で、その象徴的なイベントとして芸術祭を位置づけたい。

【問】飛騨高山国際芸術祭のコンセプトは。

【答】市民一人ひとりが主役となり誰もが参加・行動し、高山らしい文化を創造・発信する芸術祭としたい。

【問】今後の予定は。

【答】早い時期に内容を示し、市民参加の実行委員会を組織して、24年度はプレイベントを開催したい。

【問】市長公約「文化芸術振興に総予算枠の1％確保」はどうか。

【答】文化立国フランスの国家予算1％が手本で、芸術文化への投資が観光振興にもつながると考えている。

荘川の里芸術祭

各種要望への対応

【問】町内要望への対応は。

【答】道路や水路の修繕など要望のあった482項目のうち284項目を実施した。

【問】必要度・優先順位づけの基準は明確か。

【答】現地確認の上、危険度や機能上の問題を勘案し優先順位をつけている。

【問】要望に対する回答方法に問題はないか。

【答】市民に分かるよう、見通しや経緯・理由を添えて誠意ある回答に心がけている。

【問】「検討する」という議会答弁の進捗管理はできているのか。

【答】担当部局で取り組んでおり、今後ホームページで公開したい。

岩垣　和彦 議員

新年度に対する市の考えを問う！

国家公務員給与削減に伴う市の考えは

【問】震災の復興財源で、国家公務員給与が7・8％削減となる。市の職員給与の影響は。

【答】現段階では、行政改革大綱により人件費総額の抑制を図る。人事院勧告に基づいた民間給与格差に着目した対応としていきたい。

【問】今後、市独自の職員給与体系を構築する考えはあるか。

【答】人事院制度や公務員の労働基本権が国で議論されている。動向によっては新しい仕組みの検討も必要。

【問】報酬審議会の答申は「特別職の給与等は全て据え置き」で、付帯意見に「市長の海外出張時における同伴配偶者の旅費の検討」がある。市長の考えは。

【答】国際慣習である配偶者の同伴は自分で判断。必要なら妻の旅費は自身で持つ考え。

新年度の景気対策への意気込みは

【問】新年度で、景気回復を重視した主要な施策や事業は何か。

【答】公共事業の推進やプレミアム商品券事業、低金利融資や利子補給、海外戦略に基づく誘客・販売・交流促進や飛騨高山展の積極的な実施など。新ブランドの開発と外貨獲得を積極的に進め、市内経済の活性化を図る。

【問】10億円規模のプレミアム商品券発行について、過去の問題点解消と平等性を担保する対策は万全なのか。

【答】一部での大量購入などがあり、平等性に欠ける点もあった。これらを踏まえ、関係団体と検討や調整を行い、平等で効果的な制度設計に取り組む。

【問】市の経済対策と新産業創出に向け、複合的に検討する専門部署が必要と考えるが。

【答】経済対策は商工観光部、農業振興等は農政部、公共事業等は基盤整備部がそれぞれ責任を持って取り組んでいる。横断的な調整は企画・財政が担う。

前回のプレミアム商品券事業『夢とく商品券』

水門　義昭 議員

平成24年度予算

平成24年度予算

【問】高山市議会「新風会」予算要望の反映は。

【答】「新風会」要望の56項目のうち実施または一部実施するものなどが53項目、引き続き検討するものが３項目と、できる限り予算に反映させた。

【問】行政改革大綱との関連はどの様に反映させたのか。

【答】行政改革大綱実施計画に掲げる１９６の項目の達成に向けて職員の適正配置を図り、地方債残高も目標に向けて24年度末には全会計で約７８６億８０００万円の見込。

【問】新たに第2次地域主権一括法の影響は。

【答】法に係る40法令の事務のうち、身体障害者福祉法に基づく相談員の設置など33法令の事務が移譲されることになっている。

【問】予算、決算審議の改革について、事業別の導入に対する考えは。

【答】地方自治法施行規則に定める様式に従っている。高山市独自の予算資料や予算のポイントなどを作成し、できる限りわかりやすく示している。人件費も含めた事業別コストは重要であると認識しているが、課題も多い。引き続き研究していきたい。

【問】事業評価の外部評価も含めた今後の取り組みは。

【答】市の事業を市民などの第三者の視点から評価し、客観性・透明性を高めることは重要。市民満足度調査など事業の対象や、どの様な方法で行うのか検討する必要がある。いずれにしても、事業成果のさらなる向上、行政コストの一層の縮減につなげていきたい。

新風会要望書と予算審議資料

渡辺　甚一 議員

農業２５０億円産業への支援は？

農業振興策

【問】認定農業者数は。

【答】平成22年度で、５７１の経営体があり、県全体の26・３％。

【問】認定農業者を増やす取り組みは。

【答】新規就農者や後継者確保には、指導農業士の協力で就農研修などを実施。「人・農地プラン」の作成により、農地集積や地域農業のあり方の検討を進め、地域農業経営体を育成していく。

【問】畜産における獣医など、技術者の採用は。

【答】獣医の必要数確保は畜産業の振興に重要で、農業共済事務組合や関係機関等と調整検討していく。また、営農面では県普及指導員やＪＡ営農指導員等と連携して支援していく。

【問】農業生産額を、どう２５０億円にしていくか。

【答】「高山ブランド」の市場の拡大や開拓への取り組み。生産・加工・販売・観光等が一体化した新産業の育成も必要と考えている。

ハウス農家、おり菜の収穫風景

消防団ポンプ庫

【問】団車庫のトイレの整備については。

【答】１３１庫の内、現在トイレの無いものが61庫あり、改築改修に合わせて整備する。

【問】火の見やぐらの安全性については。

【答】現在22箇所あり、最も古い物で46年経っている。ホース乾燥塔で利用している物は安全対策をして、不要な物は撤去する。

資源リサイクルセンター

【問】次期焼却場の場所の選定は。

【答】候補地の特定はしていない。収集コスト・道路整備・必要面積等を調査中。市民への公募も含め、検討しながら選定していく。

【問】第一埋立地処分地の跡地利用は。

【答】地盤が落ち着くまでは災害時の仮置き場として使用。第八次総合計画に向け、関係町内会や市民の意見を聞くなかで検討する。

北村　征男 議員

第５期介護保険料は限界でないのか

市民への丁寧な説明を

【問】月額５３５０円は限界でないか。

【答】高齢者人口、介護サービス利用状況等、推計し積立金３億円を繰り入れ保険料を算出した。

【問】市民への再度の説明は。

【答】広報、ヒッツＦＭ、保険料決定通知等でお知らせし、市民説明会も検討している

定員適正化計画は計画通り行うのか

【問】定員適正化計画での職員８００人は確実に行うのか。

【答】数字ありきではない。無理やり退職をせまることはしない。柔軟に対応したい。

分署・出張所の体制は

【問】消防も定員適正化計画に当てはめるのか。

【答】市民の安全安心に応えるため、人員確保は必要であり適正化計画を踏まえつつ白川村からの消防職員の派遣受け入れを含め必要体制の確保に努める。

【問】人員配置は１日３交代で４・４・４と日勤１の13名が最低必要だ。

【答】現状体制は３・４・３と日勤１名の11名。個々の能力向上と署所間連携体制の強化に努め、万全の体制を確保する。

消防団活動は年休対応か

【問】入団している職員は何名か。

【答】１２５名だ。

【問】年休での活動と聞くが本当か。特別休暇に出来ないのか。

【答】活動報酬が支給され平成17年合併から年休で統一している。特別休暇は考えていない。

【問】年休での活動で何かあったら誰が責任を取るのか。

【答】団員すべて高山市の責任において対応する。消防団公務災害補償責任共済に加入し、さらに消防団員福祉共済にも加入している。

高山消防署国府分署

倉田　博之 議員

土砂災害の危険!?
こんなに多くの市民や家が…？

法律に基づく土砂災害警戒区域などの指定

【問】県が土砂災害警戒区域などを指定した。箇所が多数で広範囲。対象住民や宅建業界の理解は得られたのか。

【答】県の説明会に参加者は少数。再度の実施を依頼する。

【問】県・市連携での住民周知の徹底を要望しておく。区域内での建築規制などは。

【答】特別警戒区域ではさまざまな規制。

【問】土地家屋の資産価値が下落し、所有者や宅建業者に影響が出る。救済策の検討は。

【答】国・県の対応を見て、必要性の有無と責任主体を検討したい。

【問】固定資産税の見直しも必要だ。

【答】固定資産税・都市計画税など、他市の事例を参考に見直す。

【問】多数箇所への避難勧告は、うまく伝わるのか。

【答】５kmのメッシュで区域を特定できる。各種媒体を利用し、速やかに伝達する。

【問】区域内にある指定避難所とハザードマップの再検討が必要。

【答】避難所を再検討し25年度にマップを更新する。

多数で広範囲の地域指定（県、説明資料の一部）

大型ショッピングモール出店計画のその後

【問】地域住民や、中心市街地活性化協議会からの意見は。

【答】交通安全対策、防犯対策など。

【問】該当地付近に建設予定の別施設も含めて、今後の市の行動は。

【答】関係機関と協議し、心配を解消したい。多くの意見を業者に伝えている。

【問】今後は計画や指針に沿う方向で、民有地であっても土地利用を誘導する責務が市にはある。市長は事前に跡地利用を知らなかったといわれたが、幅広い人脈から情報を得られなかったのは残念。

【答】市長が施設を誘致したような言われ方は不本意。今後も計画提出後に業者と協議するスタンス。

松山　篤夫 議員

高山市を「昇龍道」の目玉にしよう！

昇龍道プロジェクト

【問】「昇龍道プロジェクト」の推進にあたって、多くの中国人観光客を迎えるため、今までの観光のあり方を再検証しつつ新しい観光のあり方を再構築する必要があると思うが、市の考えは。

【答】このプロジェクトは、特に中華圏の観光客を誘致するのに非常に有効だ。この好機を活かし、中部運輸局や中国総領事といった各国の政府機関、中部地域の各県や市町村、各種団体・事業者などと連携を密にして、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

【問】「昇龍道プロジェクト」を成功させるには、まず市民が重要性を理解する必要がある。その啓発が大切だと思われるが、市の考えは。

【答】プロジェクトのポスターやチラシなどを有効活用して市民理解を深めたい。同時に、おもてなし研修などの開催や、中国などとの国際交流の促進といった取り組みの中で、市民の皆様への啓発を図りたいと考えている。

「昇龍道プロジェクト」公式ロゴ

森林・林業の再生策

【問】国では「森林・林業再生プラン」が展開されていて、林業の再生に力を入れるなかで大きな産業へ育てようとしているところ。森林は市の最大の資源であり、その有効活用は、山林所得の還元にとどまらず雇用や地域の活性化などからみても、極めて重要なことである。市の林業再生への取り組みと、その課題・対策は何か。

【答】市は作業道整備を重点的に進めている。「森づくりプロジェクト」などを5地域で実施しており、木材の生産体制は着実に整いつつある。低コストで安定的、かつ大量に供給できる木材生産体制を構築することが大切であると考えている。

松葉　晴彦 議員

商工会の大幅改編 今後の方向と支援は!!

県下5ブロック制の商工会組織

【問】高山市の3商工会の現状と課題は。

【答】高山西・南・北の3商工会があり、会員1231名で合併時より12％減。現状の課題は、既存事業の見直し、企業支援業務の指導員の専従・強化など。

【問】4月からスタートの新体制の概要は。

【答】県下5ブロック制。飛騨3市1村が飛騨ブロックとなり、広域支援室・広域専門指導員が配置される。

【問】広域・専門性のメリットは。

【答】多岐での企業支援力が求められる中、商品開発・販路拡大・新分野進出・金融計画など、高度で専門的な指導体制が図られる。記帳指導などは従来どおり実施される。

【問】市の支援は。

【答】従来の補助金を含め支援を充実したい。

周年農業体系の取組み

【問】トマト・ホウレンソウ栽培農家の、晩秋～春季5ヶ月間の就業状況は。

【答】冬期間の所得の確保やパートなどの雇用継続のため、菌床しいたけの生産が88戸で行われている。

【問】大多数の農家は冬期農業ができない。中濃地域などの農地を借用し、周年農業の取り組みができないか。

【答】冬期間だけ農地を借り受けるということはできない。就業対策の一つとして、該当市町村や団体から情報提供を受け検討する。

新しい射撃場の建設

【問】新射撃場における現状と課題は。

【答】長年の課題であった高山猟友会と飛騨猟友会が統合し、事業主体としての体制が整った。課題として資金計画や運営計画、林地開発の協議などがある。

【問】建設の見通しは。

【答】国で審議中の鳥獣被害防止法改正に射撃場の財政措置があり、早期建設につながるものと期待している。

鳥獣害対策に必要だが、現在地での更新が困難な射撃練習場

木本　新一 議員

スポーツ振興と地域の活性化策について

ぎふ清流国体

【問】冬季国体を終えて市長の所感を伺う。

【答】競技運営と地域の協力に感謝する。競技力・地域力の向上、観光面など本大会に向けて目的達成に努める。

ぎふ清流国体の啓発
（市役所入口）

スポーツ振興について

【問】スポーツ基本法制定による市の基本計画の変更はあるか。

【答】基本法でスポーツ推進と活力ある社会の実現が明記されているが、市の計画は特に変更ない。

【問】スポーツ推進のため推進団体の要望には極力応える必要があると考えるが。

【答】内容を把握し緊急度に応じて対応する。

全国高校選抜スキー大会（ノルディック種目）

【問】来年以後の開催は他県に委ねるのか。

【答】諸事情により他県に依頼している。

【問】㈶地域活性化センターの補助金で10年間継続開催の約束を反故にするのか。

【答】活性化センターの理解を頂いている。

【問】市のスポーツ振興計画の変更は、市教委との調整が必要だが。

【答】計画の方針変更について協議していく。

【問】議会への報告は。

【答】今後の活性化策も含め協議報告する。

【問】次回は開催し、その後は関係者と十分検討して決定していくことはどうか。

【答】次の開催地が決定していない段階なので関係者の皆さんにも理解を求めていく。

公営スキー場（飛騨高山・モンデウス・アルコピア）について

【問】運営の状況と新たな取り組みはどうか。

【答】厳しい状況にある。19歳リフト無料化等取り組んでいる。

【問】海外戦略としての誘客はあるのか。

【答】既に市長のトップセールスにも含まれ実施している。

【問】公設スキー場戦略会議（仮称）の設置で検討できないか。

【答】今後一層３スキー場を連携させる方向で活性化に努力していく。

中田　清介 議員

乗車率の向上が公共交通維持のポイント

まちなみバスと拠点駐車場の連携が必要

【問】自家用車の観光客を拠点駐車場で受け止め、乗車率向上へ結びつける発想が必要だ。

【答】不動橋、天満、空町、駅西駐車場付近にバス停を設置している。観光パンフやホームページ等で周知を図っており、２月の利用者は３５８２人、徐々に増えている。

【問】利便性向上への努力が欠かせないが、役所の発想では限界がある。その為には民間のマーケティング力、経営感覚が必要。まちなみバスと拠点駐車場の運営管理をセットで民間委託すべきである。

【答】公社による駐車場管理を民間に委託することは考えていない。

【問】都市経営や持続可能性からいえば、官の限界と民の可能性を見極める事が必要。高付加価値のまちづくりや公共空間の整備の前提となる、まちなみバスの維持には必要な発想ではないか。

【答】民間の柔軟な発想や活力を取り込んでのまちづくりを、今後も検討していきたい。

可能性に向け新たな発想を（まちなみバス）

【問】民間化によるまちづくりへの再投資と雇用の場の創出は、収益を上げるまちづくりの第一歩といえる。

【答】まちづくり会社の活動がまだ見えていない。そちらの方策をまず考えるべきと思う。

北陸新幹線開業を見据えた課題と対応

【問】高山本線の接続や増便等に課題があると思うが対応は。

【答】ＪＲ東海、ＪＲ西日本に対し、沿線自治体等と高山本線強化促進同盟会を組織して要望活動を強化している。

【問】首都圏、関西圏とも時間的に短縮される。バス交通も含めた経済効果については。

【答】高山市にとっても大きな経済効果があると認識している。越中飛騨観光圏協議会やバス事業者とのバスの運行実験も予定。金沢方面も加え２次交通の強化に努める。

藤江　久子 議員

緩和ケア病棟と関連機関との連携

久美愛厚生病院緩和ケア病棟の創設について

【問】今年5月1日より、久美愛病院に緩和ケア病棟が23床創設される。この緩和ケア病棟は、市民の永年の願いが実現されたもの。

以前は「看取り」のイメージが強かったが、最近ではＷＨＯ（世界保健機構）が「緩和ケアとは、命を脅かす疾患に起因した諸問題に直面している患者と家族を（中略）・・苦しみから解放することを目標とする」として、「がんなどを告知された時から始まる心の痛みにも対応する」としている。この緩和ケアセンター医長に進藤喜予先生がご就任される。先生は以前に大阪の病院で緩和ケア病棟部長をされており経験も豊富。「どんな苦しい時でも、医療が患者と家族に寄り添ってくれる」そういった期待も膨らむ。飛騨に初めての緩和ケア病棟と関連機関との連携・市民への周知などについて、市の考え方は。

【答】関連機関と連携をしつつ、医療相談窓口等においても周知していきたい。

緩和ケア病棟を配備した新久美愛病院

男女共同参画はなぜ必要か

【問】結婚しない男女が増えていることが少子化につながっている。ではなぜ結婚しないのか。理由は、一人の方が気が楽だから・・特に結婚してからの生活に魅力を感じない女性が増えていることが問題だと考える。家事・子育て・介護は女性がやって当たり前の概念を変えることが必要であり、そのために男女共同参画の施策は必須と思うが、市の考えは？

【答】男女が意欲に応じて活躍できる社会であるべきと考えている。今後は市民の皆さんとともに地道に施策を遂行していきたい。

谷澤　政司 議員

火葬場建設待たれる市長の決断!!

火葬場建設

【問】火葬場建設地を、市長任期中に決定する決意は。

【答】候補地の決定まではしたい。

【問】全体計画のコンセプトは。

【答】久々野火葬場は利用。国府町・上宝町・奥飛騨温泉郷は引き続き他市の施設を利用。コンセプトは場所と並行して考える。

老朽化の進む高山火葬場

市長のまちづくりに対する考え

【問】市街地の都市計画・土地利用は、機をとらえてすばやく対応しなければ、市の将来に大きく影響及ぼす。

【答】市街地の広面積土地は、市が有効に利活用できる可能性もある。所有者から申し出があれば検討が必要。

【問】久美愛病院跡地所有者から市へ要望書が出た。その対応は。

【答】２月に地権者から提出され、地元町内会からも要望がある。現在どのような利活用が可能か検討を始めた。民間の利活用も含めて地域の活性化につながる手段を考えたい。

次代を担う子供たちの学校教育

【問】昨年の震災で、宮城県石巻市大川小学校児童の７割が犠牲になり、石巻市教委も過失を認めた。高山の子どもたちの各種災害時における危機管理体制は。

【答】教師と子どもが一体で校区を見て回り、自ら情報収集や危険箇所の把握をしている。避難経路等含め災害想定を見直し、命を守る危機管理体制の構築を図っていきたい。

【問】４月より国の学習指導要領が変わるが、伝統文化等を学ぶ機会の確保は。

【答】選択教科の時間はなくなるが、三味線や太鼓など伝統文化を学ぶことは重要。郷土学習を推進し、地域の外部講師とふれあいながらその生き方や地域文化を学ぶなかで、地域への愛着と誇りが持てる子どもに育てたい。

松本　紀史 議員

若者定住促進事業の拡充等について

若者定住促進事業（UIJターン家賃助成）の現状について

【問】UIJターン者が、市内で民間の賃貸住宅を契約した場合、家賃補助は。

【答】家賃の⅓以内の補助で限度月額1万5000円。期間は3年間で雇用1年以内の人。現対象者数は194人で補助総額は2577万2000円。

【問】UIJターン助成は飛騨市1万5000円、下呂市2万円だが、高山市の家賃水準は高く、最低2万円以上が妥当だ。また、若者が十分に自活できるまで、5年間は助成期間が必要だと考えるが。

【答】他市と比べてそん色ないと考えている。

【問】市の職員が住宅を借り受け、市が家賃を支払っている住居手当の現状はどうか。

【答】家賃の½補助で限度月額2万7000円。支給期限は住み続ける限り。該当職員数86名。総額2868万5000円。

【問】職員の住居手当の支給裁量権は市にあるが、支給しなければならない理由が不明瞭。これを廃止すれば、定住促進制度の拡充にあてる新たな財源が生まれるが、このことをどう考えるのか。

【答】職員住居手当の廃止は検討していない。

専用サッカー場の必要性について

【問】サッカー人口の増加や試合機会の増大などに対し、大八グランドは施設的にも対応しきれていない。

【答】要望は多い。現在、可能な対応の検討を進めている。

ますます高まるサッカー熱

防災教育について

【問】高山には、土砂崩れ・河川氾濫・火山噴火・雪崩など多種多様な災害要素がある。地域の状況に応じた防災教育をどう考えるか。

【答】想定される被害に関する知識の習得に力をいれ、地域住民の協力を得て防災教育を推進していきたい。

若山　加代子 議員

地域の元気をつくる農業支援を

地域農業マスタープランについて

【問】高山市では、「地域農業マスタープラン」の作成をどのように進めるのか。また、このプランは、農地の集積を進める内容になっているが、荒廃農地の拡大につなげない手だてが必要ではないか。

【答】市では今年1月から全農家対象に将来の農業経営に対する意向調査を実施した。これら調査のデータなどをもとに、地域での話し合いを行い、なるべく早くプランを決定していきたい。

これまでも国のさまざまな制度を活用して地域ぐるみの取り組みをしてきた。特に鳥獣害対策が重要。今後も取り組みを強化し、荒廃農地の拡大防止に取り組んでいく。

小中学校のバリアフリーについて

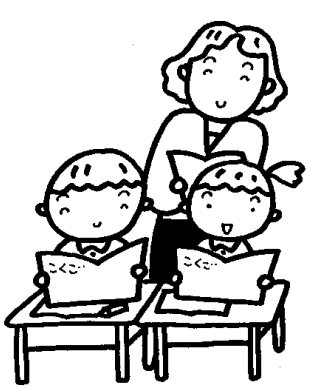
【問】耐震化については計画を前倒しで対応された。今度はぜひバリアフリー化に取り組んでいただきたい。車いすで学校生活を送るには不都合もあり、障がい児を持つ親は心配しているが、対応はできているか。

【答】校舎や屋内運動場のトイレの改修、スロープの改修など計画的にバリアフリー化を進めてきた。今後も児童生徒の障がいの状況を把握するなかで、施設の状況を確認していく。安全で安心な環境を確保できるよう、引き続き取り組んでいきたい。また、ソフト面での充実を図ることで、児童生徒の生きる力の充実につなげていくなど、きめ細かく取り組んでいきたい。

武道必須化について

【問】4月から中学校での武道・ダンスが必須化となるが、高山市では武道で何を選択されるのか。また、それによる新たな保護者負担はあるのか。

【答】高山市では剣道を選択している。新たな保護者負担はない。



総務企画委員会

調査項目

公共交通体系について政策提言をまとめました

◆提言の概要

地域政策の一環としても位置づけられる公共交通は、交通弱者にとって必要不可欠な事業です。より多くの市民が利用することにより収益性を向上させ、持続可能なシステムにする必要があります。

このため、地域特性に合った運行体制や収益構造の検討、利用者目標数値の設定による評価と検証などが重要です。更に採算性が見込める場合は、事業主体を民間に委譲するなど「まちづくり」のために再投資が可能な事業モデルを構築することが必要と結論づけました。

◆基本的方向

一．利便性向上と収益構造の将来予測

市民ニーズに応えるため地域特性に合った運行体制を確立し、将来に渡り利便向上を図るため収益構造のあり方を検討する。

二．目標値の設定と運行主体の民間化

公共交通事業は常に評価と検証が必要であるため、利用者目標を定め事業効率を検証する。また、新しい取り組みや工夫により、利用者の増加次第で採算性が見込まれる「まちなみバス」については、市営駐車場の運営と併せて運行主体を民間へ委譲させる。

三．福祉輸送の充実と輸送事業の統合

バス交通が利用困難な高齢者に対しては、福祉輸送への移行を含めて制度の充実を図る。また、「のらマイカー」と同一路線を運行するスクールバスについては、課題を整理し統合を検討する。

のらマイカーの停留所とスクールバス

◆財政見通し

平成23年度の総合交通対策費は2億8300万円となっており、平成19年度から国土交通省の地域公共交通活性化・再生総合事業に則り、事業費の半分を補助金で賄うとされていたが、国の事業仕分けにより平成24年度から廃止となる。今後、合併特例期間の終了、国及び県の厳しい財政状況により財源確保はますます大きな課題となる。そこで、利用者の増加と収益率向上をめざすなかでは高い効率の運行で事業費を削減し、削減された財源は福祉輸送に充当するなど、バス利用が困難な高齢者の移動手段としての充実を図る。また、利用者の増加により採算性が見込まれる「まちなみバス」については「まちづくり会社」へ運行主体を移管し、事業補助金として拠出する。更にスクールバス運行事業費は平成23年度に1億1100万円の予算であることから、「のらマイカー」との重複路線については、統合を検討し輸送事業費の総額を抑制する。

1．現状

	運　賃（円）	利用者数（人）予想	市民一人当たり利用回数（年間）	運行経費（千円）	運賃収支率（%）	利用者受益額（円）1回あたり
H23年度予想	100	211,752	2.26	270,000	7.8	1,175

2．今後の目標（経費削減及び運賃改定による収支率の変化と市民一人当たり年4回利用した場合）

	運　賃（円）	利用者数（人）予想	市民一人当たり利用回数（年間）	運行経費（千円）	運賃収支率（%）	利用者受益額（円）1回あたり
H25年度以降	100	374,664	4.00	230,000	16.3	514

福祉保健委員会

調査項目

議第７号
高山市介護保険条例の一部を改正する条例について

◎第５期介護保険事業計画（Ｈ24年度～26年度）に基づき介護保険料の見直しを行うもの

国の介護保険法改正に伴い、平成24年度より大きく制度が見直されます。

保険料　第１号被保険者（65歳以上）の基準月額を現行４８００円から５３５０円に増額

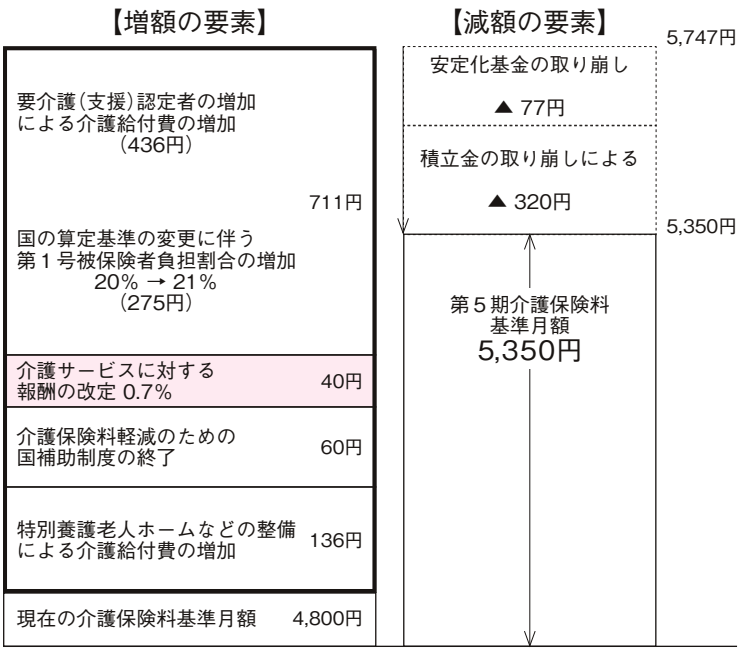
賦課区分　所得区分を現行８段階から11段階とし低所得者への軽減を図る。

当委員会に付託され、審議の結果全会一致で可決しました。

◎主な値上げの理由

1. 少子高齢化の進行
2. それに伴うサービス量の増加　など

図のような積算根拠により、値上げ分が550円となりました。



値上げの主原因となっているサービス量の増加について、市は第５期介護保険事業計画の中で、特養老82床、認知症対応型グループホーム22床、特定施設20床の合計124床を増床し、特養老への待機者838人のニーズに応えようとしています。

しかし、委員会としては、入所基準や他のサービスの充実なども併せて計画に盛り込んでいかなければ値上げ分に見合わないことや、市民の「困った感」は解消されないだろうと考え、下記のような意見を添えました。

特養老入所基準について

介護度４～５以上の重度者を優先する現行の基準では、本当に困った人が入所できない現状があり、施設を増床しても意味は薄い。老々介護や認知症での徘徊など、介護度が低くても在宅では困難な人も多い。また、入所の順番が不公平との声があり、第三者機関の創設や透明化を目指すべきではないか。

緊急ショートステイの創設について

入所待機者は在宅サービスの不足も理由の一つであり、介護者が病気になった時や遠方での葬儀の際など、緊急時に利用できる制度を創設すべきではないか。

地域間格差の是正について

介護サービスの種類や量が地域によって格差があり、ショートステイなど利用できない地域もある。施設設備などの事業を推進する中で、その是正を強く求める。

福祉施設入居者も特養老入所の対象とすべき

障害者福祉施設等でも高齢化が進んでおり、65歳以上の要介護者が増えている。高齢による身体の障害も加わり、特養への移行を希望している人もある。若い世代の障害者が福祉施設を利用できない状況もあり、今後、施設整備に当たって配慮すべきではないか。

地域包括ケアシステムの構築

高齢になっても、安心して住み慣れた地域で暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築に早急に取り組むべき。

文教経済委員会

調査項目　「観光と伝統文化」調査中間報告

≪調査の目的≫

商業化が激しい伝建地区の在り方を危惧する市民の声があり看過できない状況。まちの持続的発展のためには、観光の振興と伝統文化の保存の間に、どのような関係性を築けばよいのかの調査研究

≪調査報告≫

観光は高山の経済を牽引する基幹産業である。その観光の核は伝統文化であり、伝統文化を形成・維持しているのはコミュニティ・伝統産業・農林業等である。コミュニティや関連産業を充実させることは、観光の基礎をより強固にし、まちの持続可能性を高める。そのためには、こうした認識をすべての市民が共有し、この認識に基づいて以下のような政策を展開する必要がある。

文化によるまちづくりビジョンの策定
文化によるまちづくりの枠組みの設定と方向付け

↓

- **歴史文化基本構想の策定**
- **芸術文化振興指針等との調整**

文化資源の発掘・保存・活用・創造に関する活動の方向付け

おもてなしのまちづくり条例の制定
国際観光都市として発展を目指すことの意思表示

↓

観光に特化した計画の策定
観光への文化資源の活用方策の方向付け

（1）文化によるまちづくりビジョンの策定

- 文化資源を活用したまちづくりの方向性を明らかにする。
- 市民が主体となって方向性を検討する。
- 高山における文化と社会、文化と経済のあるべき関係を踏まえる。
- 深い歴史を踏まえた高山らしいまちづくりを目指す。

（2）歴史文化基本構想の策定等

- 新たな文化資産を増やすとともに既存の文化資産に磨きをかける取り組みに市民が主体的に関わるようにするために、高岡市の「関連文化財群」や太宰府市の「市民遺産」の考え方の導入について検討する。
- みんなが「歴史や風土を踏まえ土地の個性に合った地域づくりを推進することで、国際観光都市としての総合力が高まる」という視点を持つ。

（3）おもてなしのまちづくり条例の制定

すべての市民が「おもてなしの心」を意識して生活することにより観光都市としての魅力を増大させ、まちの持続可能性を高める。

（4）観光に特化した計画の策定

- 文化資源を持続的かつ有効に活用するため、歴史文化基本構想とおもてなしのまちづくり条例を踏まえた計画とする。
- 高山地域と支所地域を一体として捉えた計画とする。

（5）その他

①関係する計画等との調整

- 文化によるまちづくりのビジョンに基づいて関係する政策、施策、事業等を体系化し、相互の関係性を把握する中から重点的に取り組むべきポイント等を浮き彫りにする。
- 歴史的風致維持向上計画、芸術文化振興指針、産業振興計画、生涯学習振興計画等との調整を図る。

②取り組みに当たって留意すべき事項

- 市民（特に子どもや若者）を取り組みの中心に据えること。
- 全庁横断的に取り組むこと。
- 専門家、有識者を活用すること。
- 計画等には評価の仕組みを組み込むこと。

春の高山祭り

基盤整備委員会

調査項目

水道管の早期耐震化とＧＩＳ（地理情報管理システム）の導入について
ごみ処理施設の建設について

市長に政策提言しました

◆水道管の早期耐震化とＧＩＳ（地理情報管理システム）の導入

1．水道施設の早期耐震化の推進と、効果的かつ効率的に耐震化を図るためにも、諸計画とは別途の「水道施設耐震化計画」の早急な策定を行うこと。

2．住民意識の向上と生活様式の多様化により、水道に対する価値観も高まっている中で、水道施設の適正管理に求められるきめ細かな配慮と、迅速・正確かつ効率的な維持管理に対応可能なツールとして、現在庁内に導入済みのＧＩＳを活用した「水道施設情報管理システム」を導入すること。

水道情報管理システムの一例

◆ごみ処理施設の建設

新ごみ処理施設の建設は喫緊の課題であることから、ごみ処理基本計画に基づき以下の点について配慮の上、早急に新ごみ処理施設建設を推進すること。

1．新ごみ処理施設の施設概要、用地選定における手順及びスケジュールを明確にすること。

2．新ごみ処理施設建設に際し、市民とともに推進すること。

高山市資源リサイクルセンター（三福寺町地内）

基盤整備委員会のおもな動き

5／27　管内視察
水道の耐震化：さいたま市
水道局
ごみ処理施設：品川清掃工場

6／7　分野別市民意見交換会
高山市建設業連絡協議会

高山市建設業連絡協議会との意見交換会

8／24　分野別市民意見交換会
高山管設備工業協同組合

10／20　水道ＧＩＳ勉強会

10／31　政策討論会　中間報告

2／9～10　行政視察
水道ＧＩＳ運用：豊田市役所
水道耐震化計画：豊中市上下水道局

6／29　重点調査研究項目の決定
①橋りょう及び水道管の耐震化について
②環境行政におけるごみ処理計画について
③都市基本計画とまちづくりについて

7／25～27　行政視察
歴史的風致維持向上計画：川越市役所

品川清掃工場視察

3／30　政策討論会　提言案２題
①水道管の早期耐震化とＧＩＳの導入について
②ごみ処理施設の建設について

豊中市での視察

4／12　市長に政策提言

高山市議会ぎかいだより ■発行／高山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ホームページ http://www.city.takayama.lg.jp/index.html
第7号 2012年／平成24年5月1日発行 〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地 ☎0577-35-3152 fax0577-35-3170 E-mail:gikai@city.takayama.lg.jp

高山市議会の議会改革について

地域主権などにより、ますます議会機能の充実が求められています。そういった中で高山市議会は、一つの指標ではありますが、議会改革度において全国で18位との評価をいただきました。

評 価 者　元三重県知事　北川正恭氏のチーム「早稲田大学マニフェスト研究所」
調査対象　全国1789議会（有効回答1356議会）
評価基準　【情報公開】【住民参加】【機能強化】

【情報公開】の基準って…？

○議会の映像の公開は？
○議会日程・議案などの情報発信は？
※など9項目のアンケート

☆高山市議会は、本会議や予算・決算特別委員会などを生放送（録画中継も）しています。また、日程や議案などもホームページなどで情報発信しています。

【住民参加】の基準って…？

○議会の住民傍聴は？
○住民と語る場の設定は？
※など13項目のアンケート

☆高山市議会は、原則全ての会議が公開です。また、小学校区ごとに「市民意見交換会」、委員会でも各種団体などと意見交換会を行っています。

【機能強化】の基準って…？

○議会基本条例の制定は？
○議会での討論方法の整備状況は？
※など23項目のアンケート

☆高山市議会は、平成23年3月に議会基本条例を制定しています。また、反問権や一問一答方式・議員間討論なども取り入れています。

評価はありがたく受け止めて、今後も引き続き、議会と議員のあるべき姿を求め、議会全体で調査研究を進めていきます。
前進あるのみ!!

高山市議会6月定例会日程

開会日	曜日	会議内容	場所
5	火	午前9時30分　本会議	議場
6	水	議案精読日	
7	木	議案精読日	
8	金	議案精読日　午前10時 質疑・一般質問通告締切	
11	月	議案精読日	
12	火	午前9時30分　本会議	議場
13	水	午前9時30分　本会議	議場
14	木	午前9時30分　本会議	議場
		本会議終了後　議会運営委員会	全員協議会室
15	金	午前9時30分　総務企画委員会	第一委員会室
		午後1時30分　福祉保健委員会	第二委員会室
18	月	午前9時30分　文教経済委員会	第一委員会室
		午後1時30分　基盤整備委員会	第二委員会室
19	火	午前9時30分　予算特別委員会	全員協議会室
20	水	議案精読日	
21	木	午前9時30分　本会議	議場

※日程は変更される場合があります。

編集後記

ぎふ清流国体の冬季大会、競技会場で多くの議員が皆さんと一緒に声援を送りました。

震災で被災した東北各県をはじめ、全国から集った選手や関係者をまごころで歓迎し心に残る大会だったと思います。

大会成功の陰には、あさひ協力隊・丹生川みなもり会をはじめとする多くの役員・関係者・地域の方々の並々ならぬ協力があったことは言うまでもありませんが、スポーツには人を元気にする力があるということをあらためて感じています。

全国レベルの競技を目の当たりにした子どもたちの今後に期待するとともに、今の厳しい社会情勢の中で、スポーツの持つ力や可能性を信じ、議会も秋の本大会に向け高山の地から全国に希望を発信したいと願っています。

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用
UD FONT みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。